

会 議 録

会 議 名	佐野市立城東中学校区小中一貫校開校準備委員会 総務部会 令和8年度 第1回会議
日 時	令和8年7月14日（火） 午後6時30分～午後7時20分
場 所	佐野市立城東中学校 南校舎1階 会議室
出 席 者	【参加者】（16名） 別添資料「委員名簿」のとおり （欠席者1名） 【事務局】（計7名） 佐野市教育委員会 学校適正配置課 課長、係長、係員5名
配 付 資 料	・ 次第、委員名簿 ・ 資料1 城東中学校区小中一貫校の整備について ・ 資料2 佐野市立城東中学校区小中一貫校 開校準備委員会 設置要綱 ・ 資料3 佐野市立城東中学校区小中一貫校 開校準備委員会 専門部会 設置方針 ・ 資料4 佐野市立城東中学校区小中一貫校 校名協議経過 ・ 資料5 佐野市立城東中学校区小中一貫校 開校準備委員会 総務部会 スケジュール(案) ・ 資料6 校章の制作方法について ・ 資料7 校章(参考資料) ・ 資料8 校歌の制作方法について ・ 資料9 校歌(参考資料) ・ 別紙1 佐野市立佐野義務教育学校の校章及び校歌の制作方法に関する意見の提出について ・ 別紙2 校章に関する意見 ・ 別紙3 校歌に関する意見

委員会内容	委員会の内容については以下のとおり。 1 開会 司会（学校適正配置課長） 2 出席者紹介（自己紹介） 3 概要説明 ・事務局から資料1、2、3、4を基に説明。質疑無し。 ≪資料1～4の主な説明事項≫ ・義務教育学校の建設予定地は、現・佐野小学校の敷地となる。 ・学校の種類は、施設一体型の義務教育学校となる。 ・校章、校歌は開校準備委員会及び総務部会において検討、決定していく。 ・開校時の予測児童生徒数は、各学年2～3クラスの569名となる。 ・今後のスケジュールとしてハード面とソフト面に分けて、説明をした。ハード面では、今年度、事業者選定を進めており、ソフト面では、開校準備委員会を開催し、開校までに必要な事項の検討を行っていく。 ・学校運営に係る協議体制は、開校準備委員会を決定機関として、その下に専門部会（総務部会、通学部会、PTA部会、学校支援部会）を設置し、各分野において細部の検討を行っていく。 ・学校内部の専門的、教育的な部分については、学校の教職員を中心とした学校運営部会を開校準備委員会とは別に構成し、教育理念や教育目標などの検討を行っていく。 ・開校準備委員会の専門部会設置方針では、各部会の所掌事務、各部会の事務局を説明。総務部会及び通学部会は学校適正配置課、PTA部会及び学校支援部会は生涯学習課が事務局となる。 ・開校準備委員会2回、総務部会3回を経て校名(案)が決定し、教育委員会5月定例会、佐野市議会6月定例会に議案を提出、承認され、校名が「佐野市立 佐野 義務教育学校」と決定された。 4 部会長及び副部会長の選任について - 部会長・副部会長を選任。 - 部会長：城東中学校 校長
-------	--

副部会長：佐野小学校 校長

5 議題

(1) 開校準備委員会 総務部会スケジュール(案)について

- ・事務局から資料5を基に説明。質疑なし。

《資料5の主な説明事項》

- ・令和8年度に校章・校歌についてどのように制作していくかを検討し、令和9年度から令和11年度に制作を進めていく予定。
- ・校章・校旗は、令和9年度から令和10年度で制作を行う。
- ・校歌は、令和9年度から令和11年度までに制作をする予定。
- ・今年度については、第2回会議では第1回会議で委員の皆様に依頼した校章・校歌の制作方法に対する意見を基に方針を決定する。協議の進捗に応じて第3回会議を開催することも検討する。

(2) 校章の制作方法について

- ・事務局から資料6、資料7を基に説明。質疑無し。

《資料6～7の主な説明事項》

- ・あそ野学園、葛生、かえで義務教育学校の校章の制作方法について説明。
- ・他自治体の選定方法について説明。
- ・城東中学校区小中一貫校の校章の選定方法について、大きく公募する場合と公募しない場合に分けて説明。さらに細かく、児童生徒の投票とするのか、学校区に縁がありデザインができる方に頼むのか等をご提示した。
- ・参考として、城東中学校区内の各小中学校の校章、本市の義務教育学校、他自治体の義務教育学校の校章をお示しした。

(3) 校歌の選定方法について

- ・事務局から資料8、資料9を基に説明。質疑無し。

《資料8～9の主な説明事項》

- ・あそ野学園、葛生、かえで義務教育学校の校歌の制作方法について説明。
- ・他自治体の選定方法について説明。

- ・城東中学校区小中一貫校の校章について大きく公募する場合と公募しない場合に分けて説明。さらに細かく、学校区に縁があり作詞・作曲に精通している方に頼むのか、専門の委員会を設置し制作する等をご提示した。
- ・参考として、佐野市の小中学校の校歌制作者の一覧と城東中学校区内の小中学校の校歌をご提示した。

6 その他

- ・事務局から別紙１～３を基に説明。

《別紙１～３の主な説明事項》

- ・委員の皆様には校章及び校歌の制作方法に関する意見の提出を９月１５日までをお願いをした。

《委員からの質疑》

(部会員１)佐野小の面積の狭さや居ながら工事となることについて心配の声がある。地域への説明会はこれからする予定か。

(事務局)工事だけでなく、学校運営に係る部分も含めて、地域の方、保護者、教職員に向けて説明していく。また、ご要望があれば町会等の集まりにお邪魔して説明させていただく。居ながら工事については、子供の安全を最優先に考えて進めていく。また、ＨＰで掲載している基本構想では佐野小の中に必要とする施設はすべて収まるとお示ししている。その前提のもと、事業者募集を行っているところである。事業者より提案をいただき、できるだけ子供達に不便をかけない方法を選定していく。

(部会員２)資料１の児童生徒数は、５６９名となっているが受け入れられる児童生徒には上限があるのか。校舎の建設費用はいくらか。

(事務局)お示ししている児童生徒数は現在の生徒からの推計となる。これから校舎を建設するにあたっては、この人数をベースにして多少の余裕を持たせて建設する予定。建設された施設の部屋数が上限となる。少子化の時代であり、急激に人数が増える事は想定しにくいため、現在推計している人数をベースとしている。

(事務局)建設費用については、現在事業者募集の段階であり、こちらが示した金額の範囲内で提案していただくようお願いしている。かえでと規模が違うがこちらが業者にお示している金額は、１０２億円である。こちらは、建設費用だけではなく１５年間の維持管理費も含んでいるため、実際の建設費は１０２億よりも少なくなる。物価高騰を踏まえてもかえでよりも金額的には下がっている。

	(部会員３)作詞作曲等をお願いする場合、予算は確保できているのか。 (事務局)今までの事例では、謝礼として作詞、作曲、デザインそれぞれ１０万円としていた。これから予算を要望する段階。謝礼はでるということで考えていただいてよい。 (部会員４)開校準備委員会の名称を城東中学校区小中一貫校から佐野義務教育学校に直すのか。 (事務局)先日、議会があり、正式に「佐野義務教育学校」と決定した。皆様には開校日よりお知らせをさせていただいた。それを受けて開校準備委員会の名称も手続きを経て、「佐野義務教育学校 開校準備委員会」と直す予定。 7 閉会
--	---